

保護者の皆様へ

感染症についてのお願い

〇〇保育所長/保育園長/こども園長
三条市教育委員会子育て支援課

保育所（園）では、お子さんが感染症にかかった場合は、本人の健康の回復と他の児童への感染を予防するため、一定期間登所を控えていただいております。

医師の診断を受けられ、病気が治癒、又は他の児童への感染の恐れがなくなりましたら、感染症の種類により、次のとおり保育所（園）へ提出をお願いします。

お子さんとまわりの児童の健康を守るために御理解と御協力をお願いします。

1 登所・登園許可証【医療機関が記入】が必要な感染症

※病（医）院によっては、記入する際に文書料がかかることがあります。

病名	症状	感染しやすい時期	登所のめやす
麻疹 (はしか)	発熱、結膜の充血や目やになど、熱が一時下がると頬の内側の粘膜に発疹が出現。再び熱が上がり発疹が全身へひろがる。	発症1日前から発疹の出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹	発熱と全身に赤みのある発疹、首や耳の後ろなどのリンパ節の腫れ	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘 (水ぼうそう)	発疹は、全身に見られ、紅斑、水ぼう、痂皮(かさぶた)の順に変化。発疹はかゆみを伴う。	発疹出現1～2日前から痂皮(かさぶた)形成するまで	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱、片側または両側の耳下腺が腫れ痛みを伴う。乳児や年少児では感染しても症状が出ないことがある。	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	肺結核では、咳、たん、発熱などが2週間以上続く	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	39℃前後の高熱、のどの痛み、結膜炎	発熱、眼の充血などの症状が出た数日間	発熱、充血等の主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	眼の充血、ひどい目やに	充血、目やになどの症状が出た数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消えてから
百日咳	風邪様の症状から次第に咳が強くなる。1～2週間で特有の咳(短い咳が連続的に出る)となり、夜間に悪化。発熱はあまりみられない。	抗菌薬を服用しない場合、咳が出た後3週間を経過するまで	特有の咳が消えるまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O-157等)	激しい腹痛、頻回の水様便や血便など	—	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから。医師により、感染の恐れがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	急性結膜炎で結膜出血が特徴	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
侵襲性髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌性髄膜炎)	急激な発症(発熱・頭痛・嘔吐・髄膜刺激症、血圧低下、紫斑など)	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで

裏面あり

2 登所・登園届【医師の診断を受けて保護者が記入】が必要な感染症

病名	症状	感染しやすい時期	登所のめやす
インフルエンザ	悪寒・発熱・食欲不振・頭痛・関節痛・吐き気・下痢など	症状がある間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	無症状のまま経過することもあるが、有症状では、発熱・呼吸器症状・頭痛・倦怠感・消化器症状・鼻汁・味覚異常・臭覚異常など	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること。※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日として、5日を経過すること
溶連菌感染症	突然の高熱、のどが赤く腫れ、痛みを伴い、舌がいちごのように赤くプツプツになる（いちご舌）。かゆみを伴う発しんなど。	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	乾いた咳が徐々にたんが、からむ咳となる。解熱後も3～4週間咳が続くことがある。	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	水ほう性の発しんが口の中、手のひら、足の裏などに出る。口内炎がひどく食事がとれないことがある。	手足や口の中に水ほう・潰瘍ができた数日間	発熱や口の中の水ほう・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	軽い風邪症状の後、頬が赤くなったり、手足に紅斑が出る。	発しん出現前の1週間	全身の状態が良いこと
RSウイルス感染症	発熱、鼻水、咳、ぜいめい、呼吸困難など	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消え全身の状態が良いこと
帯状疱疹	痛みとともに、神経の走行に沿って、紅斑や小水ほうができる。	水ほうがある間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化してから
突発性発しん	38℃以上の高熱が3～4日続いた後、体幹部を中心に発しんが出る。		解熱し機嫌が良く全身の状態が良いこと
ヘルパンギーナ	発症初期には、高熱、喉の痛み等の症状がみられる。また、咽頭に赤い粘膜しんがみられ、次に水疱となり、まもなく潰瘍となる。	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱は口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ等）	発熱、おう吐、下痢	症状のある間と症状が消えた後1週間（量は減少するが、数週間はウイルスを排泄）	おう吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること

3 その他の感染症

病名	症状	感染しやすい時期	登所のめやす
とびひ（伝染性膿痂疹）	主な症状としては、水疱（水ぶくれ）やびらん、痂皮（かさぶた）が鼻周囲、体幹、四肢等の全身にみられる。	—	—
アタマジラミ	卵は頭髮の根元近くになり、毛に固く付着して白くみえる。フケのようにも見えるが、卵の場合は指でつまんでも容易には動かない。成虫は頭髮の根元近くで活動している。	—	—
ミズイボ（伝染性軟属腫）	1～5mm程度の常色～白～淡紅色の丘しん、小結節（しこり）であり、表面はつやがあって、一見水疱（水ぶくれ）にも見える。	—	—

B型肝炎	ウイルスが肝臓に感染し、炎症を起こす病気である。急性肝炎と慢性肝炎がある。0歳児が感染した場合、約9割がHBVのキャリアとなる。キャリア化の割合は年長児では低下するが、5歳児でも約1割がキャリア化する。	—	—
------	---	---	---